

テーマ

ア. 参加のきっかけづくり

- ・グループ討議で出た意見を、事務局において「原因」「対策」「実践」に区分して記載してあります。
- ・今後さらに検討を行い、「ロジックツリー」としてまとめていきます。

主要課題	原因	対策	実践
<p>場があっても来る人は同じ。幅広い住民参加を得るには、どんなきっかけ(仕掛け)が必要か。</p>	<p>興味の対象が世代によって違う</p> <p>企画のアイデアが足りない、事業が僵っている</p> <p>運動会を作っても町会長が大変、参加者も役員などに限られる</p> <p>新年のお食事が役員決めの場と化し、目的が変わってきている</p> <p>参加者が固定化している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常連の輪の中に入りにくい ・福祉ひろばがサークル化して新しい人が入りにくい <p>毎日同じ子とやる →同じメンバーになってしまふ</p> <p>集まりがあっても年齢層が違うと参加しにくい</p> <p>男性の参加が少ない 独居男性をどう参加させる</p> <p>若い世代の参加が少ない</p> <p>子育て世代は土日も部活あったり、その送迎・参加で忙しい</p> <p>共働き家庭だと参加しにくい</p> <p>興味はあっても一人では行けない</p> <p>参加すると後で役員をやらされる</p> <p>外に出るのが好きではない、知らない人と話すのが苦手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に関心がない ・地域のつながりの必要性を感じていない <p>25年前にできた町=つながりゼロからスタート →子供は子ども会でつながりができるが、その子供たちが町を出て行ってしまったら、親世代は取り残されてしまふ</p> <p>困り事などの情報は町会長に集まっているが、担い手がいない</p> <p>情報が広がらない</p> <p>チラシ、案内文などを読んでもらえない</p> <p>チラシのデザインが10年同じ</p>	<p>外からの人が良いアイデアを持っている事も</p> <p>利用者にやりたい企画を提案してもらおう</p> <p>民生委員、公民館長は地域の情報を良く知っている</p> <p>女性はつながりが多く広い</p> <p>女性はアイデア豊富</p> <p>世代などに応じて、興味をもってもらえる分野で企画する</p> <p>健康に興味のない人はいない →健康に関するイベントやると集まるのでは</p> <p>楽しいと感じてもらえる機会をつくる</p> <p>イベントを行う日程・時間帯を工夫する必要がある</p> <p>・人が人を呼ぶ ・「誘う人」がカギ ・誘ってもらおうと参加しやすい</p> <p>誰にでもできることを細くやり続けることが大事</p> <p>自分が楽しいと思わなければ</p>	<p>育成会でお母さんたちにお金を渡して企画してもらったら、良い案が多く出た</p> <p>→イベント企画の際はこの人たちに聞くと、誰がどんな技術持っているか、困っているかなどわかる</p> <p>飲食のイベントには女性参加者多い</p> <p>そば打ちのイベントには男性が大勢集まる</p> <p>独居男性を対象としたシニア食堂...作った野菜持ってきてくれたら食事ができる →利用者同士の会話の場にもなる</p> <p>健康体操教室</p> <p>夏休み中のイベントを平日にしてみたら、参加者が増えた(土・日は家族で旅行等に行くため)</p> <p>行事や会議は夕食の時間帯は避ける</p> <p>犬の散歩やウォーキングコース、コンビニでの挨拶などで交流</p> <p>輪番制で仕方なく組長をやったら地域の人たちとつながりができた</p> <p>アンケートを書くだけでも参加</p> <p>SNSも使いつつ、情報流していく</p> <p>行事の数日前に高齢者に対して再度案内を配布す</p>